

事務事業名		林道改良事業(補助)			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	終了
H27担当課等名		林務課		H27係等名	森林保全係			H26係等名	森林保全係			
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
		施策	11	支え、育む産業基盤づくり								
目的	対象(誰・何を)	林道の未改良部分						対象指標	指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	林道を改良することにより、森林整備(間伐)の作業効率を向上し、木材搬出のコスト軽減など林業生産機能を向上させる。							地域再生計画・林道改良計画延長(m)	547		
	向上させたい上位施策の成果指標	林業生産額(億円)							その他計画・林道改良計画延長(個所)	43		
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	H26まで地域再生計画・改良実施(累計m)/改良計画延長(3,589m)=% H27から地域再生計画・改良実施(累計m)/改良計画延長(2,340)=%						91	93	16	37	
	成果指標	その他計画・林道改良計画箇所(箇所)						51	43	4	7	
	定性目標											
事業概要	<p>林道改良工事(法面保全、局部改良、安全施設整備等)を施工することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上、通行車両の安全確保を図る。特に通行に支障があり、緊急に対応しなければならない箇所について実施する。                  平成25年度から森林環境保全整備事業にて橋梁、トンネルの点検診断を行い、保全整備計画(長寿命化修繕)を策定し、橋梁等長寿命化と予防保全整備を進める。特に通行に支障となるような重大な損傷の可能性が高い箇所については早期に保全整備工事を実施する。</p>											
26年度事業内容	事業内容						名称			活動指標		
	1 地域再生計画・林道改良 御池山線 2 (25→26繰越明許) 地域再生計画・林道改良 千遠線・松川入線 3 森林環境保全整備事業・点検診断 (1)点検診断:橋梁 東沢線他12路線 (2)点検診断:トンネル 千遠線他2路線 (3)保全整備工事 押の沢線他9路線						1 施工延長・幅員 2 個所数			1 L=155m W=4.0m 2 L=392m W=4.0m 3-(1) 36箇所 3-(2) 4箇所 3-(3) 3箇所		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		239,240	104,909	104,748	126,001	(県)民有林林道改良事業補助金(国1/2、県1/100) (地)公共事業等(充当率90%) 28,000千円 (地)過疎対策(充当率100%) 9,800千円 (そ)繰越金 25→26繰越明許費 56,369千円						
国庫支出金												
県支出金		119,371	52,325	52,325	62,148							
起債		95,700	37,800	37,800	58,000							
その他			141	141								
一般財源		24,169	14,643	14,482	5,853							
人件費計(千円)②		7,152		7,152								
正規職員所要時間		2,000		2,000								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		246,392	104,909	111,900	126,001							
事業内容・目標達成状況の振り返り	橋梁点検診断業務の結果に基づき、優先順位を考慮しつつ、同年度内での保全整備工事の施工につなげることが出来た。											
改革改善の考え方	①問題点	林業のみでなく、生活道路や観光道路として利用されているが、中央構造線の破碎帯と思われる部分が多く、崩落に対する通行車両の安全確保が課題となっている										
	②改革提案	工法検討によるコスト縮減										